

〈H12-5-A:問題〉

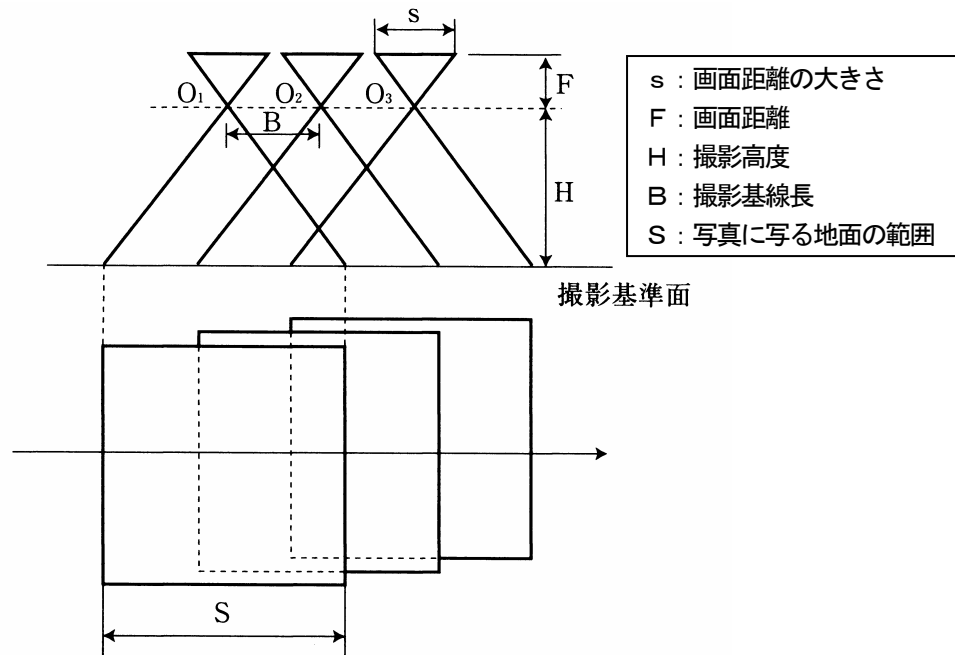
次の文は、標準的な公共測量作業規程に基づいて実施する空中三角測量について述べたものである。間違っているものはどれか。次の中から選べ。

1. 空中三角測量とは、図化で使用する標定点(パスポイント、タイポイント)の水平位置と高さを求める作業である。
2. タイポイントは、主点基線上で連続する3枚の空中写真上で実体視ができる明瞭な位置に選定する。
3. パスポイントは、付近がなるべく平たんで連続する3枚の空中写真上で実体視ができる明瞭な位置に選定する。
4. パスポイントは、主点付近に1点選定し、主点基線に直角な方向で主点付近に選んだ点から両側にほぼ等距離の位置に1点ずつ選定する。
5. 空中三角測量では、コンパレータなどにより、密着ポジフィルムの指標位置、パスポイント、タイポイント及び基準点などの位置の写真座標を測定する。

〈H12-5-B:問題〉

図 5-1 は、航空機から航空カメラを用いて行った空中写真の撮影について示したものである。画面距離 15 cm、画面の大きさ $23\text{cm} \times 23\text{cm}$ 、撮影高度 3,750m、オーバーラップ 60%、サイドラップ 30% で平坦な土地の等高度鉛直空中写真を撮影した。撮影基線長はいくらか。最も近いものを次の中から選べ。

なお、関数の数値が必要な場合は、関数表を使用すること。



1. 1.0km
2. 1.5km
3. 2.3 km
4. 3.5 km
5. 5.1 km

〈H12-5-C:問題〉

次の文は、夏季に撮影した縮尺 1/10,000 のパナクロマチック空中写真の判読の結果について述べたものである。あきらかに間違っているものはどれか。次の中から選べ。

1. 耕地の中に、規則正しく格子状の配列を示す樹冠がみられたので、果樹園と判読した。
2. 一面一面が平たんな耕地で、長方形に近い規則正しい形で配列し、あぜがみられたので、水田と判読した。
3. 傾斜地の中に、色調が暗く、丸みをおびた大きな樹冠がみられたので、竹林と判読した。
4. 耕地の中に、黒色の細長い筋状に並んでいる列が何本もみられたので、茶畑と判読した。
5. 谷筋にあり、全体的に黒い色調で、とがった樹冠がみられたので、針葉樹林と判読した。

〈H12-5-D:問題〉

次の文は、標準的な公共測量作業規程に基づいて実施するデジタルマッピング(以下「DM」という)について述べたものである。間違っているものはどれか。次の中から選べ。

1. 数値図化作業は、座標読取装置の付いた図化機を用いて、地図情報を数値形式で取得し、記録して行う。
2. 数値地図データの精度を示す指標「地図情報レベル」は、計測に使用するディジタイザの性能により決まる。
3. 取得する数値図化データには、地形・地物などの種類を示す分類コードを付ける。
4. 地形表現のためのデータ取得方法には、等高線法や数値地形モデル法がある。
5. DMデータファイルは、編集済データの完成後、その内容を確認し、決められた形式・構造にしたがって電子記憶媒体に記録して作成する。